

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B <sup>+</sup>
建物名称	(仮称)北16条東19丁目ビル	総合評価	★★★★★	★★★★★	
建物用途	事務所				
延床面積	2,103.33 m <sup>2</sup>				

### 2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	★★★★★
	<b>省資源等</b>	★★★★☆
	<b>緑化</b>	★★★★☆
	<b>雪処理</b>	★★★★☆

### レーダーチャート

この建物は特に  
**省エネルギー性能**  
が優れています

### 3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	19点	/24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0	
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0	
		LR1 効率的運用	スコア 2.0	
B 省資源等		合計	14点	/23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	
C 緑化		合計	8点	/16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	1点	/3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	

### 4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー	B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 通常の断熱材のほか、外壁に断熱材を挟み込んだパネルを採用し断熱性能の付加価値を上げた設計としている。	注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 極力凹凸のないよう平面を計画、整形なプランとすることで端材の発生を抑えるよう計画 設備的には複数の熱源を採用することにより、状況に応じた省エネ効果が得られる	注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 札幌市の条例による緑化基準をクリアするとともに無機質な建物に対し周辺環境との緩衝材の役割を担うよう配置している。	注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物以外の部分はほぼ駐車スペースとなっているが、全面にロードヒーティングを敷設して積雪状態が発生しないようになっている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される